

発がんリスクに関する評価結果一覧

政令 番号	物質名	CAS番号	最新 評価 年度	有害性評価						暴露評価 ²⁾		リスク評価の結果				
				IARC 発がん性	1プロ ¹⁾ 発がん性	変異原 性 ¹⁾	NOAEL 等	生物種	エンドポイント	無毒性 量等 (mg/kg/ 日)	暴露 経路	摂取量 (μg/kg/ 日)	MOE	不確実 係数積	判定 ²⁾	リコメンデーション
1	亜鉛の水溶性化合物	-	H17		×	判断 できない					経口	330			×	
2	アクリルアミド	79-06-1	H17	2A	+	あり					経口	2.8			■	遺伝毒性を有する発がん物質であることから、詳細なリスク評価が必要
3	アクリル酸	79-10-7	H16	3	-/+	判断 できない					経口	20			-	
4	アクリル酸エチル	140-88-5	H17	2B	+	なし	LOAEL	ラット	雄ラットの前胃の扁平上皮がん及び扁平上皮乳頭腫の発生頻度の増加	71	経口	0.00024	3.0E+08	10,000	△	発がん性については、実際のLOAELはさらに低い値である可能性があるため、発がん性についての情報が得られたら再評価
5	アクリル酸2-(ジメチルアミノ)エチル	2439-35-2	H15		×	あり					吸入	0.0013			▲	遺伝毒性を有する物質であると考えられるので、発がん性に関する情報収集が必要
6	アクリル酸メチル	96-33-3	H15	3	-	判断 できない					吸入	0.12			-	
7	アクリロニトリル	107-13-1	H16	2B	+	あり					吸入	0.64			■	遺伝毒性を有する発がん性物質であり、発がん性について詳細なリスク評価が必要
8	アクロレイン	107-02-8	H16	3	-	判断 できない					経口	1.8			-	
9	アジピン酸ビス(2-エチルヘキシル)	103-23-1	H15	3	+	可能性 低い					経口	1.2			-	
11	アセトアルデヒド	75-07-0	H16	2B	+	あり					経口	380			■	アセトアルデヒドは実験動物に発がん性を示し、遺伝毒性が認められていることから、遺伝毒性を有する発がん物質としても、詳細なリスク評価が必要な候補物質である
12	アセトニトリル	75-05-8	H15		-	判断 できない					吸入	0.45			△	
13	2,2'-アゾビスイソブチロニトリル	78-67-1	H17		×	判断 できない					吸入	0.00013			×	
15	アニリン	62-53-3	H17	3	-/+	あり					経口	0.2			-	
16	2-アミノエタノール	141-43-5	H17		×	なし					経口	2.4			×	
17	N-(2-アミノエチル)-1,2-エタンジアミン(別名ジエチレントリアミン)	111-40-0	H16		×	なし					経口	0.035			×	
22	アリルアルコール	107-18-6	H15		×	判断 できない					吸入	0.021			×	
23	1-アリルオキシ-2,3-エポキシプロパン	106-92-3	H15		×	あり					吸入	0.013			×	
24	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る。)	-	H15		-	なし					経口	300			△	
25	アンチモン及びその化合物	-	H17	2B	-/+	判断 できない					経口	3.2			▲	アンチモン及びその化合物の遺伝毒性及び発がん性の有無については明確に判断することができないため、これらの情報を引き続き収集する必要がある。
28	イソブレン	78-79-5	H15	2B	+	あり					吸入	0.25			■	イソブレンは遺伝毒性を有する発がん物質の可能性があるので、詳細なリスク評価が必要な候補物質である。
29	4,4'-イソプロピリデンジフェノール(別名ビスフェノールA)	80-05-7	H15		-	判断 できない					経口	0.4			△	
30	4,4'-イソプロピリデンジフェノールと1-クロロ-2,3-エポキシプロパンの重縮合物(別名ビスフェノールA型エポキシ樹脂)(液状のものに限る。)	25068-38-6	H16		-	判断 できない					経口	3.6			△	
32	2-イミダゾリジンチオン	96-45-7	H18	3	+	なし					吸入	0.0012			-	
40	エチルベンゼン	100-41-4	H17	2B	-/+	なし	NOAEL	ラット	雌雄の腎臓に腫瘍	64	吸入	14	4,600	1,000	○	遺伝毒性、発がん性については、今後新しいデータが得られた時点でリスク評価結果の見直しを行うことが望ましい。
42	エチレンオキシド	75-21-8	H16	1	+	あり					吸入	0.26			■	遺伝毒性を有する発がん物質として詳細なリスク評価が必要な候補物質である。
43	エチレングリコール	107-21-1	H17		-	なし					経口	1.1			△	
44	エチレングリコールモノエチルエーテル	110-80-5	H15		-	なし					吸入	0.052			△	
45	エチレングリコールモノメチルエーテル	109-86-4	H15		×	可能性 低い					経口	0.22			×	
46	エチレンジアミン	107-15-3	H15		-	なし					吸入	0.0076			△	
47	エチレンジアミン四酢酸	60-00-4	H15		-	判断 できない					経口	75			△	
54	エピクロヒドリル	106-89-8	H17	2A	×	あり					吸入	0.11			■	遺伝毒性を有する発がん物質の可能性があるので、今後詳細なリスク評価が必要な物質である
56	1,2-エポキシプロパン(別名酸化プロピレン)	75-56-9	H17	2B	+	あり					吸入	0.76			■	遺伝毒性を有する発がん物質の可能性があるので、詳細なリスク評価が必要な候補物質である
57	2,3-エポキシプロピルフェニルエーテル	122-60-1	H17	2B	+	可能性 あり					吸入	0.0006			▲	遺伝毒性を有する可能性があるため、発がん性について引き続き情報を収集する必要がある
58	1-オクタノール	111-87-5	H18		-/+	判断 できない					経口	0.0086			×	
61	ε-カプロラクタム	105-60-2	H15	4	-	なし					経口	0.052			○	

政令 番号	物質名	CAS番号	最新 評価 年度	有害性評価						暴露評価 ²⁾		リスク評価の結果				
				IARC 発がん性	1プロ ¹⁾ 発がん性	変異原 性 ¹⁾	NOAEL 等	生物種	エンドポイント	無毒性 量等 (mg/kg/ 日)	暴露 経路	摂取量 (μg/kg/ 日)	MOE	不確実 係数積	判定 ³⁾	リコメンデーション
62	2,6-キシレノール	576-26-1	H18		×	判断 できない					経口	0.02			×	
63	キシレン	1330-20-7	H16	3	-	なし					吸入	98			-	
65	グリオキサール	107-22-2	H16		×	あり					経口	0.0072			×	
66	グルタルアルデヒド	111-30-8	H18		-/+	判断 できない					吸入	0.001			×	
67	クレゾール	1319-77-3	H15		×	可能性 低い					吸入	0.22			×	
71	o-クロロアニリン	95-51-2	H16		×	あり					経口	0.003			▲	ヒトでの疫学調査及び実験動物による発がん性試験の報告はないが、遺伝毒性を有する可能性があることから、今後も遺伝毒性及び発がん性に関する情報収集を行う必要がある。
72	p-クロロアニリン	106-47-8	H15	2B	+	あり					経口	0.0064			■	p-クロロアニリンは遺伝毒性を有する発がん物質として詳細なリスク評価が必要な候補物質である。
74	クロロエタン	75-00-3	H16	3	×	あり					吸入	0.11			-	
77	クロロエチレン(別名塩化ビニル)	75-01-4	H16	1	+	あり					吸入	2.4			■	発がん性については詳細なリスク評価が必要な候補物質である。
80	クロロ酢酸	79-11-8	H16		-	なし					経口	0.2			△	
89	o-クロロトルエン	95-49-8	H18		×	なし					吸入	0.048			×	
91	3-クロロプロペン(別名塩化アリル)	107-05-1	H16	3	×	判断 できない					吸入	0.0064			-	
93	クロロベンゼン	108-90-7	H15		-/+	なし					吸入	0.044			×	
95	クロロホルム	67-66-3	H15	2B	+	なし	NOAEL	マウス	腎細胞腫瘍、がん	7.4	吸入	2.4	3,100	1,000	○	
96	クロロメタン(別名塩化メチル)	74-87-3	H16	3	-/+	あり					吸入	0.76			-	
101	酢酸2-エトキシエチル(別名エチレンジグリコールモノエチルエーテルアセテート)	111-15-9	H15		×	判断 できない					吸入	0.3			×	
102	酢酸ビニル	108-05-4	H16	2B	+	あり					吸入	0.28			■	酢酸ビニルモノマーは遺伝毒性を有する発がん物質の可能性があり、今後詳細なリスク評価が必要な候補物質である。
103	酢酸2-メトキシエチル(別名エチレンジグリコールモノメチルエーテルアセテート)	110-49-6	H16		×	判断 できない					吸入	0.12			×	
108	無機シアン化合物(錯塩及びシアン酸塩を除く。)	-	H17		×	なし					吸入	1.8			×	
109	2-(ジエチルアミノ)エタノール	100-37-8	H18		×	なし					吸入	0.015			×	
112	四塩化炭素	56-23-5	H15	2B	+	なし	NOAEL	ラット	肝細胞腺腫、肝細胞がん(吸入)	4.2	吸入	0.56	7,500	1,000	○	
113	1,4-ジオキサソ	123-91-1	H15	2B	+	なし	NOAEL	ラット	肝細胞腺腫の発生率の増加	26	全経路	0.14	190,000	1,000	○	
114	シクロヘキシルアミン	108-91-8	H18		-	判断 できない					経口	2.2			△	
116	1,2-ジクロロエタン	107-06-2	H15	2B	+	あり					吸入	1.1			■	1,2-ジクロロエタンは遺伝毒性を有する発がん物質の可能性があるので、詳細なリスク評価が必要な候補物質である。
117	1,1-ジクロロエチレン(別名塩化ビニリデン)	75-35-4	H16	3	-/+	判断 できない					吸入	0.72			-	
118	cis-1,2-ジクロロエチレン	156-59-2	H18		×	判断 できない					経口	0.1			×	
119	trans-1,2-ジクロロエチレン	156-60-5	H18		×	なし					経口	0.2			×	
120	3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニルメタン	101-14-4	H15	2A	+	あり					経口	0.0046			■	MBOCAは明らかに遺伝毒性を示し、動物実験では最低用量群から複数臓器に対する発がんがみられるため、発がん性については詳細な評価が必要な候補物質である。
128	1,4-ジクロロ-2-ニトロベンゼン	89-61-2	H17		+	判断 できない					経口	0.0064			▲	動物の発がん性試験で、発がん性が示唆されるため、今後も遺伝毒性及び発がん性について、情報収集を必要とする。
134	1,3-ジクロロ-2-プロパノール	96-23-1	H16		+	あり					経口	0.094			▲	遺伝毒性において陽性を示し、ラットにおいて発がん性が示されていることから、発がん性に関する情報を引き続き入手する必要がある
135	1,2-ジクロロプロパン	78-87-5	H16	3	-/+	あり					吸入	0.072			-	
139	o-ジクロロベンゼン	95-50-1	H15	3	-	判断 できない					吸入	0.1			-	
140	p-ジクロロベンゼン	106-46-7	H15	2B	+	なし	NOAEL	マウス	肝細胞がん	550	吸入	190	2,900 (参考値)	1,000 (参考値)	▲	ヒトに対しての発がん性については明確になっておらず、今後さらなる調査及び試験が必要
145	ジクロロメタン(別名塩化メチレン)	75-09-2	H15	2B	+	あり					吸入	8.0			■	遺伝毒性を有する発がん物質の可能性があるので、詳細なリスク評価が必要な候補物質である。
157	ジニトロトルエン	25321-14-6	H16	2B	+	あり					吸入	0.084			■	2,4-DNT及び2,6-DNTは遺伝毒性を有する発がん物質であることから詳細なリスク評価が必要な候補物質である。
159	ジフェニルアミン	122-39-4	H17		-	なし					経口	0.2			△	
160	2-(ジ-n-ブチルアミノ)エタノール	102-81-8	H15		×	なし					経口	0.016			×	
166	N,N-ジメチルデシルアミン=N-オキシド	1643-20-5	H17		-	判断 できない					経口	8.9			△	
172	N,N-ジメチルホルムアミド	68-12-2	H15	3	-/+	なし					経口	0.20			-	

政令 番号	物質名	CAS番号	最新 評価 年度	有害性評価						暴露評価 ²⁾		リスク評価の結果				
				IARC 発がん性	1P ¹⁾ 発がん性	変異原 性 ¹⁾	NOAEL 等	生物種	エンドポイント	無毒性 量等 (mg/kg/ 日)	暴露 経路	摂取量 (μg/kg/ 日)	MOE	不確実 係数積	判定 ³⁾	リコメンデーション
177	スチレン	100-42-5	H17	2B	—/+	あり					吸入 (神経系) 経口	0.20			■	遺伝毒性を有する発がん物質の可能性が あることから、詳細なリスク評価が必要 な候補物質である
178	セレン及びその化合物	-	H17	3	×	判断 できない					経口	1.6			-	
181	チオ尿素	62-56-6	H16	3	×	なし					経口	7.7			-	
197	デカブロモジフェニルエー テル	1163-19-5	H15	3	×	判断 できない					経口	0.006			-	
198	1,3,5,7-テトラアザトリシクロ [3.3.1.1.3.7]デカン(別名ヘ キサメチレンテトラミン)	100-97-0	H16		-	判断 できない					経口	0.12			△	
200	テトラクロロエチレン	127-18-4	H16	2A	+	なし	LOAEL	マウス	肝細胞がんの有 意な増加	210	吸入	1.8	120,000	10,000	▲	閾値のある発がん性物質と仮定し、発がん性試験に おける最低用量をLOAELとみなした。この値を用いて MOEの算出を試みたが、実際のLOAELはさらに低い 値である可能性があるため、今後さらに発がん性 についての情報の収集を必要とする。
202	テトラヒドロメチル無水フタ ル酸	11070-44-3	H17		×	判断 できない					吸入	0.0072			×	
203	テトラフルオロエチレン	116-14-3	H15	2B	+	なし					吸入	0.84			▲	遺伝毒性を有しない物質であるが、発がん性試験に おいて、最低濃度でも悪性腫瘍を誘発し、NOAEL(ある いはLOAEL)を決定することができないことから、情 報の収集が必要である。
205	テレフタル酸	100-21-0	H17		×	なし					経口	2.4			×	
206	テレフタル酸ジメチル	120-61-6	H17		-	なし					吸入	0.00036			△	
208	トリクロロアセトアルデヒド	75-87-6	H15	3	—/+	あり					経口	1.2			-	
210	1,1,2-トリクロロエタン	79-00-5	H15	3	—/+	判断 できない					経口	0.017			-	
211	トリクロロエチレン	79-01-6	H16	2A	+	判断 できない					吸入	10			▲	遺伝毒性の有無について明確に判断することはでき ない。そのため、トリクロロエチレンは発がん性を有 し、NOAELが示唆されているものの、発がん性の NOAELについては結論できない。したがって、トリクロ ロエチレンの遺伝毒性を明確にするために、今後安 定化剤の効果を検討した遺伝毒性試験の実施が必要 である。
218	1,3,5-トリス(2,3-エポキシ プロピル)-1,3,5-トリアジン- 2,4,6(1H,3H,5H)-トリオン	2451-62-9	H18		-	可能 性がある					吸入	0.0056			×	
222	トリプロモメタン(別名プロ モホルム)	75-25-2	H17	3	—/+	あり					経口	0.24			-	
223	3,5,5-トリメチル-1-ヘキサ ノール	3452-97-9	H17		×	判断 できない					吸入	0.0018			×	
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	108-67-8	H16		×	判断 できない					吸入	440			×	
225	o-トルイジン	95-53-4	H16	2A	—/+	判断 できない					経口	0.2			▲	遺伝毒性については明確に判断できないが、動物試 験で発がん性が示唆されることから、今後も引き続 き情報を収集する必要がある
226	p-トルイジン	106-49-0	H17		—/+	判断 できない					吸入	0.00044			×	遺伝毒性については明確に判断できないが、動物試 験で発がん性が示唆されることから引き続き情報を 収集する必要がある
227	トルエン	108-88-3	H15	3	×	なし					吸入	110			-	
228	2,4-トルエンジアミン	95-80-7	H15	2B	+	あり					経口	0.0016			■	ヒトがんのリスクに関して、2,4-トルエンジアミンは 遺伝毒性をもつ発がん性物質であり、詳細なリスク評 価が必要であると判断する
231	ニッケル	7440-02-0	H17	2B	—/+	判断 できない					経口	5.8			▲	国際機関で発がん性の可能性があるとされており、 遺伝毒性及び発がん性について、さらに情報収集が 必要である。
232	ニッケル化合物	-	H17	1	—/+	あり					経口	5.8			■	水溶性ニッケル化合物は遺伝毒性を有すると考えら れること、動物実験においてニッケル化合物の種類、 投与経路によっては腫瘍の発生がみられることな どから、発がん性について詳細なリスク評価が必要 な候補物質である。
236	ニトログリセリン	55-63-0	H18		—/+	可能 性は低い					経口	0.017			×	
237	p-ニトロクロロベンゼン	100-00-5	H16	3	—/+	あり					吸入	0.006			-	
240	ニトロベンゼン	98-95-3	H15	2B	+	なし	LOAEL	マウス	肺の細気管支及 び肺胞上皮の腺 腫及びがんの発 生率増加	7.4	吸入	0.028	260,000	10,000	○	
241	二硫化炭素	75-15-0	H15		-	判断 できない					吸入	26			×	
242	ニルフェノール	25154-52-3	H15		×	なし					経口	0.024			×	
251	ビス(水素化牛脂)ジメチル アンモニウムクロリド	61789-80-8	H15		×	なし					経口	0.15			×	
252	砒素及びその無機化合物	-	H17	1	—/+	あり					経口	0.73			■	遺伝毒性を有する発がん物質として詳細なリスク評 価が必要な候補物質である。
253	ヒドラジン	302-01-2	H16	2B	+	あり					経口	0.11			■	ヒドラジンは遺伝毒性を有する発がん物質であること から、発がん性についても詳細なリスク評価が必要 な候補物質である。
254	ヒドロキノン	123-31-9	H16	3	+	あり					経口	0.084			-	
255	4-ピニル-1-シクロヘキセ ン	100-40-3	H17	2B	—/+	可能 性低い					経口	0.013			▲	マウスへの経口投与試験で卵巣および副腎に発がん が見られたことから、発がん性を示すと判断する。 またIARCがグループ2Bに分類しており、遺伝毒性を 有する発がん性物質の可能性がみられることから、今 後も遺伝毒性及び発がん性についての情報収集が必要 である
256	2-ピニルピリジン	100-69-6	H15		×	判断 できない					吸入	0.0076			×	

政令 番号	物質名	CAS番号	最新 評年度	有害性評価						暴露評価 ²⁾		リスク評価の結果				
				IARC 発がん性	1P ¹⁾ 発がん性	変異原 性 ¹⁾	NOAEL 等	生物種	エンドポイント	無毒性 量等 (mg/kg/ 日)	暴露 経路	摂取量 (μg/kg/ 日)	MOE	不確実 係数積	判定 ³⁾	リコメンデーション
258	ピペラジン	110-85-0	H15		×	判断 できない					経口	0.0033			×	
259	ピリジン	110-86-1	H15	3	-/+	なし					経口	12			-	
260	ピロカテコール(別名カテ コール)	120-80-9	H18	2B	+	あり					経口	0.17			■	ピロカテコールは、遺伝毒性を有する発がん物質として詳細なリスク評価が必要な候補物質である。
264	m-フェニレンジアミン	108-45-2	H17	3	-	判断 できない					吸入	0.002			-	
266	フェノール	108-95-2	H15	3	-	あり					経口	2			-	
268	1,3-ブタジエン	106-99-0	H15	1	+	あり					吸入	0.92			■	1,3-ブタジエンは、遺伝毒性を有する発がん物質であると考えられることから、詳細なリスク評価が必要な候補物質である。
270	フタル酸ジ-n-ブチル	84-74-2	H15		×	判断 できない					経口	4.0			×	
272	フタル酸ビス(2-エチルヘ キシル)	117-81-7	H15	3	-/+	判断 できない					経口	6.9			-	
273	フタル酸n-ブチル=ベンジ ル	85-68-7	H17	3	-/+	なし					経口	0.14			-	
282	N-(tert-ブチル)-2-ベンゾ チアゾールスルフェンアミド	95-31-8	H15		×	判断 できない					経口	0.19			×	N-(tert-ブチル)-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミドは、in vitroの遺伝毒性試験において陽性を示していることから、今後、in vivo試験の実施が望まれる。
288	プロモetan(別名臭化メチ ル)	74-83-9	H17	3	-	あり					経口	0.1			-	
292	ヘキサメチレンジアミン	124-09-4	H16		×	判断 できない					経口	4.5			×	
293	ヘキサメチレン=ジイソシア ネート	822-06-0	H17		-	可能性 低い					吸入	0.017			△	
297	ベンジル=クロリド(別名塩 化ベンジル)	100-44-7	H17	2A	+	可能性 あり					経口	0.0022			▲	遺伝毒性を有する可能性があり、またヒトに対して発がん性を示すことが考えられることから、今後遺伝毒性と発がん性について、情報を収集する必要がある。
298	ベンズアルデヒド	100-52-7	H15		×	判断 できない					吸入	0.03			×	
299	ベンゼン	71-43-2	H16	1	+	あり					吸入	170			■	遺伝毒性を有し、ヒトに対する発がん物質であること及び我が国において設定されている大気環境基準値を超えた地点が経年的に減少しているものの、散見されることから発がん性についても詳細なリスク評価が必要な候補物質である
300	1,2,4-ベンゼントリカルボン 酸1,2-無水物	552-30-7	H17		×	判断 できない					吸入	0.000022			×	
304	ほう素及びその化合物	-	H17		-	なし					経口	75			△	
307	ポリ(オキシエチレン)=アル キルエーテル(アルキル基 の炭素数が12から15まで	-	H15		-	なし					経口	81			△	
308	ポリ(オキシエチレン)=オク チルフェニルエーテル	9036-19-5	H16		×	なし					経口	0.028			×	
309	ポリ(オキシエチレン)=ニ ルフェニルエーテル	9016-45-9	H15		×	可能性 低い					経口	0.061			×	
310	ホルムアルデヒド	50-00-0	H16	1	-/+	あり	NOAEL	ラット	鼻腔の扁平上皮 がんの発生増加	0.96	吸入	56	17	1,000	■	発がん性についてもホルムアルデヒドはヒト健康に悪影響を及ぼすことが示唆され、詳細なリスク評価が必要な候補物質である。
311	マンガン及びその化合物	-	H17		×	あり					経口	90			▲	遺伝毒性を有し、発がん性の有無については明確に判断することができないため、発がん性に関する情報を引き続き収集する必要がある
312	無水フタル酸	85-44-9	H17		-	判断 できない					吸入	0.02			△	
313	無水マレイン酸	108-31-6	H17		-	判断 できない					吸入	0.012			△	
314	メタクリル酸	79-41-4	H15		×	なし					経口	0.0026			×	
315	メタクリル酸2-エチルヘキ シル	688-84-6	H17		×	判断 できない					経口	0.02			×	
316	メタクリル酸2,3-エポキシ プロピル	106-91-2	H16		×	あり					吸入	0.056			▲	遺伝毒性を有するため、ヒトの発がん性に関して詳細な疫学データ及び、実験動物に対する発がん性試験について引き続き情報収集する必要がある。
318	メタクリル酸2-(ジメチルア ミノ)エチル	2867-47-2	H17		×	判断 できない					吸入	0.00072			×	
319	メタクリル酸n-ブチル	97-88-1	H18		×	なし					吸入	0.015			×	
320	メタクリル酸メチル	80-62-6	H15	3	-	なし					経口	0.073			-	
321	メタクリロニトリル	126-98-7	H18		×	なし					吸入	0.0006			×	
335	α-メチルスチレン	98-83-9	H18		×	判断 できない					吸入	0.096			×	
336	3-メチルピリジン	108-99-6	H15		×	判断 できない					経口	0.017			×	
338	メチル-1,3-フェニレン=ジイ ソシアネート(別名m-トリ レンジイソシアネート)	26471-62-5	H16	2B	+	あり					吸入	0.08			■	マウス、ラットで発がん性を示すことから遺伝毒性を有する発がん物質と推測され、詳細なリスク評価を行う必要がある候補物質である。
340	4,4'-メチレンジアニリン	101-77-9	H17	2B	+	あり					経口	0.0015			■	遺伝毒性を有する可能性があり、マウス及びラットの発がん性試験において、甲状腺細胞や肝細胞の腫瘍やがんの発生頻度の増加が認められていることから、発がん性について詳細なリスク評価が必要な候補物質である。
345	メルカプト酢酸	68-11-1	H17		×	判断 できない					経口	0.0002			×	
350	りん酸ジメチル=2,2-ジクロ ロピニル(別名ジクロロボ ス又はDDVP)	62-73-7	H15	2B	+	なし					経口	0.046			■	マウス、ラットで発がん性を示すことから遺伝毒性を有する発がん物質と推測され、詳細なリスク評価を行う必要がある候補物質である。

添付資料 2-3

政令 番号	物質名	CAS番号	最新 評価 年度	有害性評価							暴露評価 ²⁾		リスク評価の結果				
				IARC 発がん性	1プロ ¹⁾ 発がん性	変異原 性 ¹⁾	NOAEL 等	生物種	エンドポイント	無毒性 量等 (mg/kg/ 日)	暴露 経路	摂取量 (μg/kg/ 日)	MOE	不確実 係数積	判定 ³⁾	リコメンデーション	
352	リン酸トリス(2-クロロエチル)	115-96-8	H16	3	+	判断 できない						吸入	0.22			-	
353	リン酸トリス(ジメチルフェニル)	25155-23-1	H15		×	なし						経口	0.0058			×	
354	リン酸トリ-n-ブチル	126-73-8	H18		+	なし						経口	0.020			×	
-	フタル酸ジシクロヘキシル	84-61-7	H17		×	判断 できない						経口	0.2			×	

1)初期リスク評価書で採用した発がん性
と変異原性。発がん性の記号の
意味は
+：陽性データあり
-：陰性データあり
-/+: 陰陽データあり
×：判断できない

2)摂取量の多い
方の経路を採用

3)判定の記号の意味は以下の通り
○：現時点でリスク懸念なし
■：詳細な評価等が必要
▲：情報収集が必要
△：発がん性が認められなかったとの報告あり
×：判断できない
-：判定しない(IARCがグループ3)